



GREEN LETTER

グリーンレター

Vol. 214

2014/06/01

今月の一枚

今月のイベント

参加者募集

GREEN COLUMN

01. なんなんだ！美幌のナニワズ

02. ボクたちの町にくらす野鳥



今月の一枚



「おたがいさま」

表紙写真・文／城坂結実

植物図鑑を見ていると、時折、植物を説明するものとして「軟弱な多年草…」という文句が出てきます。春に花を咲かせる「エゾヒメアマナ」は、まさに！その軟弱そうに見える草花の一つ。

先日、山の急な斜面に生えているエゾヒメアマナを見て「軟弱なのに、よくこんな場所に生えているなあ」と感心しましたが、エゾヒメアマナから私を見れば「大きい体なのに、よくこんな斜面に立ってられるなあ」と思ったことでしょう。

Event. 今月のイベント

第2回 自然講座 「みんなで探ろう！タンポポ合戦のなぞ」 6月7日(土), 8日(日)

プチ工房「お魚&貝がらマグネット」 6月12日(木), 19日(木)

第1回 歴史講座 「粘土をこねて土器をつくろう」 6月14日(土)

第3回 自然講座 「根っこの下の力もち〜ベニバナイチャクソウと菌根菌」 6月21日(土), 22日(日)

モノ作り講座「小さな風景 ミニジオラマ」 6月29日(日)

Information. 参加者募集

プチ工房 「お魚&貝がらマグネット」

●6/12(木), 19(木) 10:00 - 12:00, 13:00 - 16:00 自由に入室。作品ができれば終了 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費 (200 円) ●城坂結実 (美幌博物館) ●申込み不要

モノ作り講座 「小さな風景 ミニジオラマ」

●6/29(日) 10:00 - 16:00 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費・保険料 (800 円), 作りたい風景の写真があれば, 昼食, 飲みもの ●枝澤則行 (ふるさと美幌の自然と語る会) ●美幌博物館へ電話申込み (6/1 - 6/25)。対象は小学3年生から一般。定員 16 名で締切。

第1回 歴史講座 「粘土をこねて土器をつくろう」

【土器作り】 ●6/14(土) 9:30 - 11:30 ●美幌博物館 1F 講座室 ●材料費・保険料 (600 円), 汚れても良い服装, タオル【野焼き】 ●7/5(土) 9:30 - 14:00 ●美幌みどりの村キャンプ場 ●汚れても良い服装, 軍手, 昼食, 飲みもの ●八重柏誠 (美幌博物館) ●美幌博物館へ電話申込み (6/1 - 6/13)。【野焼き】のキャンセルは 7/2(水)まで。それ以降は保険料 100 円がかかります。対象は小学1年生から一般、小学生は保護者の同伴が必要、定員 12 名で締切。

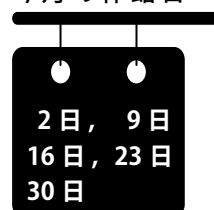
第3回 自然講座 「根っこの下の力もち〜ベニバナイチャクソウと菌根菌」

【講演会】 ●6/21(土) 16:00 - 17:30 ●美幌博物館 2F 視聴覚室 ●無料 ●橋本靖 (帯広畜産大学) ●申込み不要 【観察会】 ●6/22(日) 9:30 - 12:00 ●美幌町内 ●保険料 (100 円), 野外で活動できる服装, 雨具 ●橋本靖 (帯広畜産大学) ●美幌博物館へ電話申込み (6/1 - 6/18)。キャンセルは 6/18(水)まで。それ以降は保険料 100 円がかかります。対象は小学4年生から一般、小学校3年生以下は保護者の同伴が必要、定員 25 名で締切。

第4回 自然講座 「ヘイケボタル〜光の不思議」

【講演会】 ●7/12(土) 18:00 - 18:50 ●美幌博物館 2F 視聴覚室 ●無料 ●鬼丸和幸 (美幌博物館) ●申込み不要 【観察会】 ●7/12(土) 19:00 - 21:00 ●美幌町内 ●保険料 (100 円), 野外で活動できる服装, 雨具, 懐中電灯 ●鬼丸和幸 (美幌博物館) ●美幌博物館へ電話申込み (6/1 - 7/9)。キャンセルは 7/9(水)まで。それ以降は保険料 100 円がかかります。対象は小学4年生から一般、小学校3年生以下は保護者の同伴が必要、定員 25 名で締切。

今月の休館日



〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用, 持ち物 ●講師 ●申込み方法

01 GREEN COLUMN グリーンコラム

なんなんだ！ 美幌のナニワズ

写真・文／城坂結実



みなさん、ナニワズという植物
をご覧になったことはあるで
しょうか。写真のような低木で、4～
5月に直径1～2cmほどの黄色い花を
咲かせます。花は全て同じ作りではな
く、雌花（花粉はないが、種子を作る
ことができる）と両性花（花粉があり、
種子も作ることができる）があります。
美幌町では、あまり見かけることはあ
りませんが、限られた場所でひっそり
咲いています。

今回は、ナニワズの「なんなんだ！」
と思わず言ってしまうような、一面を
ご紹介しましょう。

まずはその別名、エゾナツボウス。
その名の由来は、夏に葉っぱを落とす
から。ナニワズは、夏に葉を落とし、
秋にあたらしい葉を広げます。樹木の
多くは、冬に葉を落としますが、夏に
葉を落とすとは、少し変わった樹木で
す。

また、昨年、美幌町のナニワズを調
べたところ、美幌町ならではのなん
なんだ！も見つかりました。

ナニワズは、一般的に高さ50cmほ
どになる小低木とされており、多くの
場合、数株がポツポツと生育していま
す。しかし、美幌町のナニワズは高さ
が20cmほどしかなく、10m×14m
の範囲に、足の踏み場もないほど密集
して生育しているのです。その数は
1000株以上。さらに、その中で、両
生花をもつ株は数株というから、驚き
でした。両性花が少ないということは、
授粉できる可能性が低いということ。
案の定、400株中20株ほどしか種子
をつけていませんでした。花は咲かせ
ど、実をつけない美幌町のナニワズた
ち・・・これで大丈夫なのでしょうか。
今後どうなってゆくのか、興味深いと
ころです。

ボクたちの町に くらす野鳥

写真／前田武夫・文／町田善康



オホーツク海より内陸に約20km。美幌町は、網走川と美幌川の2つの川に挟まれ、低地から高山帯まで多種多様な自然環境を有します。さらに、森林面積（人工林を含む）が、6割を超える森の町でもあります。

そんな美幌町には、いったい何種類の野鳥が暮らしているのか。単純な疑問ですが、この問いに答えるのは簡単ではありません。なぜならば、一種類ずつ野鳥を確認し、記録していかなければならないからです。特に、植物などとは違い、翼を使って大きく移動する野鳥を正確にとらえていくことは、とても難しいのです（もちろん、植物は植物で、野鳥とは別の苦労がたくさんあります）。

以前、町内在住のアマチュア写真家、前田武夫さんから写真の寄贈を受けた際に、町内で確認されている野鳥の

種数を調べました。その際、109種が明らかになり、目指せ150種と高らかに宣言しました（グリーンレター201号参照）。

その後、この難問に答えるため、たくさんの方にご協力いただき、様々な調査が行われてきました。

その結果、163種が記録され、自分の想像をはるかに超えた種数に驚いています。

今年の特別展では、これまでの調査によって明らかになってきた美幌町の野鳥について紹介します。美幌博物館に収蔵されている300点を越える鳥類標本や、前田武夫さんの写真を展示します。さらに、山階鳥類研究所からお借りした貴重な標本も紹介します。会期は、7月6日から10月26日まで。

多くの皆様のご来館を心よりお待ちしております。

美幌博物館のホームページに、学校の先生方へ向けたページが加わりました。学校で美幌博物館を利用する際に、お役立て下さい。

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253-4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/museum/index.html>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき



展示会のタイトルには、毎回頭を悩ませます。あれやこれやと、書いては消し、書いては消しを繰り返します。ようやく決まったタイトルが「ボクたちの町にくらす野鳥」。今年は、野鳥の特別展を行います。(町田)